

2023年度 前期総会議事録

2023年8月6日 15:00~

※Zoomを用い、一部対面のハイブリッド型で実施

全役員の3分の2以上が出席しているので成立。以下、敬称略。

1. 2023年度前期予算案並びに2023年度前期決算報告・収支内訳、2023年度後期予算案並びに監査報告

財務茂木より説明。

質問無し、賛成多数により可決。

2. 2022年度春合宿の会計報告

合宿担当大野より春合宿会計報告の説明。

質問無し、賛成多数により可決。

3. 弓の命名による弓管理の刷新について

對馬より議案の説明。

質問無し、賛成多数により可決。

4. 合宿担当の増員について

大野より議案の説明。

大野) 資料に訂正あり。1年生に手伝ってもらう形式とする。

一色) 具体的にどの業務が多く、分担したいと考えているのか。

大野) 旅行会社との連絡等は従来通り、執行代の合宿担当がやっていくのが良いと考える。レクリエーション(体育館大会)の企画は1年生に分担したい。部分的な手伝いを予定している。

一色) 手伝う1年生の選定はどうするか

大野) 3~5人募る予定である。

賛成多数により可決。

5. 役員システムの変更に伴う会則の変更について

南より説明。

南) 資料に訂正あり。第一号から第五号の練習は、日吉代表又は内務の内、2名以上の出席を必要とする。

質問無し、賛成多数により可決。

6. 合宿の予算増加について

茂木より説明。

一色) この予算増加は①合宿で使うお金自体を増やすことと②合宿で不足の事態が発生した際に備えることのどちらを目的としているのか

茂木) 毎回残すべき7~10万を残せない状態であるため、補うための10万を想定している。

一色) 予算を増やすだけでは、今まで以上にお金を消費し、再び繰越金が足りなくなる可能性がある。繰越金の限度額を引き上げる意味での10万円増加と予算自体の増加で分けるのはどうか。

茂木) 予算を増やした場合、繰越金が不足しないよう合宿担当が調整するのではないかと考える。

南) 合宿に景品のクオリティを上げたいという意見もあったが確かか

茂木) それも予算増加を提案する1つの理由として挙げられる。

一色) 予算とは別に準備金を用意し、不測の事態の時用のお金を別に用意する方が良いのではないか。

茂木) 合宿後の繰越金不足の際に、サークル全体の本口座から補助金として出すことは現時点で可能である。現在の予算だと繰越金が不足する事態が多く、補助金を合宿の口座に移動させる回数も多い。その対策としての策でもあり、景品を豪華にする策とまとめて、合宿の予算を10万増やすことを提案したい。2つを別々の案にするのも良いと考える。

一色) 改めて。予算を増やしたい額と、残しておきたい額を決め直すのはどうか。

杉山) この案については本日決定するのが困難であるため、後日役員会にて話し合うこととしたい。役員会に委任するかについて決を採る。

役員会への委任多数。よって役員会に持ち越し。

7. 新たに弓を購入することについて

内田より説明。

内田) 補足あり。キロ数ごとの購入本数については、後日弓整理を通して確定させた上で、役員会にて決を採りたいと考える。

對馬) 詳細について役員会に採決を持ち越す場合、後期役員会にあたるのか。それとも臨時役員会として実施するのか。総会は通すべきか。

杉山) 採決時に総会を通す必要はなく、臨時役員会で十分である。

對馬) 補足として、弓購入は費用が大きいですが、購入先である小山弓具店のポイントカードがかなり貯まっているため、費用はかなり抑えられる。

杉山) ポイントカードは何円分あるのか。

對馬) まだ計上でできていないため、弓整理後の購入本数を決定する時に確認し、役員に共有する。

役員会への委任多数。よって役員会に決定権を委ねる。

8.三田祭出店準備費用の経費からの立替

石原から説明。

石原) 補足あり。経費で立て替える 200,000 円の内訳については、大体であるが、団体として三田祭に参加する企画分担金として 15,000 円、運営分担金として一人 800 円。参加人数は 50 人ほどを予定しているため、運営分担金は 40,000~50,000 円。テントやテーブルのレンタルを含め、三田祭側に支払うのが 100,000 円強である。食材(スモア、スモアラテ)費は現在確定が難しいが、合計で 200,000 円以内に抑える予定である。

一色) その見積もりはいつ出るのか

石原) 三田祭との連絡次第であるため、8月中だと思われるが断言はできない。

南) 一日何個のスモアを売る計算になっているのか。

石原) 最低 100 個で黒字になると想定している。1つあたり何円で販売するかについては今後の試作会を通して決めていく予定である。

一色) 何を作るのかを確定させたうえで支出額を決めてほしい。いつまでに決めることが出来るのか。

石原) 三田祭側から内訳とともに支払額が提示される時期が分からない。また、食材費についてももう一度試作会を行ったうえで確定させたい。仮の形で支出額を決める場合、それほど時間はかからないが、あくまで予想なので、支出額は上下する可能性がある。

南) 確定していない事項が多く、本日中に決めることが困難である。三田祭に支払う費用が決まり次第、支出額を確定させ、もう一度全体で話し合う必要がある。

支出額確定後、再度話し合うことについて、賛成多数。

よって、三田祭側への支払額と食材費の確定後、再度話し合うこととする。

文責：37 期内務